

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公表番号】特表2003-516957(P2003-516957A)

【公表日】平成15年5月20日(2003.5.20)

【出願番号】特願2001-544659(P2001-544659)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/06 (2006.01)
 A 6 1 K 9/12 (2006.01)
 A 6 1 K 31/4164 (2006.01)
 A 6 1 K 31/4178 (2006.01)
 A 6 1 K 31/57 (2006.01)
 A 6 1 K 47/14 (2006.01)
 A 6 1 K 47/32 (2006.01)
 A 6 1 K 47/34 (2006.01)
 A 6 1 K 47/38 (2006.01)
 A 6 1 P 5/24 (2006.01)
 A 6 1 P 7/02 (2006.01)
 A 6 1 P 15/18 (2006.01)
 A 6 1 P 29/00 (2006.01)
 A 6 1 P 37/08 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 9/06
 A 6 1 K 9/12
 A 6 1 K 31/4164
 A 6 1 K 31/4178
 A 6 1 K 31/57
 A 6 1 K 47/14
 A 6 1 K 47/32
 A 6 1 K 47/34
 A 6 1 K 47/38
 A 6 1 P 5/24
 A 6 1 P 7/02
 A 6 1 P 15/18
 A 6 1 P 29/00
 A 6 1 P 37/08

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月3日(2007.12.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】有効成分により粘膜、特に腔粘膜を治療するためのゲル形状組成物であって：

- ポロキサマー Lutrol F127、
- 生体粘着性生成物 Carbopol 5984、及び

- 可溶化した、又は懸濁状の少なくとも1種の有効成分を組み合わせて含むことを特徴とする組成物。

【請求項2】 有効成分は、抗菌薬、抗生物質、避妊薬、更にはそれらの2つ又は幾つかの組み合わせであることを特徴とする請求項1に記載の組成物。

【請求項3】 組成物にセルロース誘導体を加えることを特徴とする請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項4】 セルロース誘導体は、ヒドロキシプロピルメチルセルロースであることを特徴とする請求項3に記載の組成物。

【請求項5】 賦形剤として水を含むことを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載の組成物。

【請求項6】 少なくとも1種の保存料及び中和剤を含むことを特徴とする請求項1から5のいずれかに記載の組成物。

【請求項7】 保存料は、パラオキシ安息香酸メチルナトリウム又はパラオキシ安息香酸プロピルナトリウムから選択されることを特徴とする請求項6に記載の組成物。

【請求項8】 中和剤は、水酸化ナトリウムであることを特徴とする請求項6又は7に記載の組成物。

【請求項9】 請求項1から8のいずれかに記載の組成物の製法であって、次の一連のステップ：

- 予混合1：中和剤に賦形剤の一部を加えること、
- 予混合2：約30～35の温度における大量の賦形剤中で有効成分を拡散すること、及び
- 熱可逆性ゲル、生体粘着性生成物、及び予混合1及び2を機械混合することを行うことからなることを特徴とする方法。